

〇パネルディスカッション出演者プロフィール（敬称略）

パネリスト

彬子女王（あきこじょう）殿下



寛仁親王殿下の第一女子として生まれる。学習院大学卒業後、海外に流出した日本美術を調査・研究。平成22年、オックスフォード大学より博士号を取得。慈照寺研修道場美術研究員、立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員、京都市立芸術大学芸術資源研究センター特別招聘研究員を務める。一般社団法人「心游舎」を設立し、子どもたちに日本文化を伝える活動にも取り組む。

アラード チャールズ 事業家



米国生まれ。Tulane University 卒業。慶応義塾大学国際センター及び大学院修了。日本で証券会社勤務等を経て、現職のソフトウェア会社の中国兼東南アジア地区代表取締役役に就任。平成20年、京都西陣に織屋建の町家を購入し、自身の手で改良を加え、第二の住まいとして活用している。著書に、『Insurance Risk Securitisation』など。

片山 九郎右衛門（かたやま くろうえもん）（公社）京都観世会会長 観世流能楽師



父・片山 幽雪（人間国宝）および八世 観世鍬之丞に師事。平成23年、十世片山 九郎右衛門を襲名。公益社団法人京都観世会会長、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団常務理事を務める。国内外で多数の公演に出演するほか、能の絵本制作や能楽教室の開催など、伝統芸能の継承にも取り組む。

西尾 久美子（にしお くみこ） 京都女子大学現代社会学部教授



京都府立大学卒業後、大阪ガス勤務を経て、滋賀大学経済学部卒業。平成18年、神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期修了。経営組織論、キャリア論を専門に研究。神戸大学大学院経営学研究科助手などを経て平成20年に京都女子大学現代社会学部准教授に就任、平成25年より現職。主な著書に、『京都花街の経営学』、『舞妓の言葉』など。

コーディネーター

宗田 好史（むねた よしふみ） 京都府立大学生命環境学部教授



法政大学工学部建築学科卒業。同大学院を経て、イタリア ピサ大学・ローマ大学大学院にて都市・地域計画学専攻、歴史的都市保存計画、景観計画、都市商業政策を研究。歴史都市再生政策の研究で、工学博士（京都大学）。国際連合職員を経て、現職。国際記念物遺産会議（ICOMOS）日本委員会理事、東京文化財研究所客員研究員などを務める。